



「谷川士清の会」の研修旅行として、11月6日（日）晴れた日に会員8名が松阪市小野江町にある「松浦武四郎記念館」を訪れた。コミュニティセンターの中に併設された「武四郎記念館」の中野館長、また北海道博物館の学芸員主査の三浦泰之氏より「なんじゃこりゃ？すごいぞ！世にも稀なる蝦夷屏風」に関わる楽しいお話を聞いた。「北加伊道」と名付けた武四郎は28歳から41歳まで6回渡って、それまで「蝦夷地」と言われていた北海道を内陸部まで探査、先住民のアイヌに伝わる文化を尊重していたことを知った。

武四郎はまさに北海道の名付け親である。友の会の会員14名の方々と昼食の弁当を共にし、親しく語り合った。武四郎まつり等で地域に根付く活動をしておられる皆様との交流は大変有益だった。

エゾヒガンザクラを見たのち、武四郎の「和歌の碑」を囲んで記念撮影。

（「武四郎友の会」第36号による追記◎）

参加者（池村・尾市・萩野・馬場・西井・別所・山越・山本）

～ 出張講座を体験して～

山越 玲子

平成28年11月8日（火） 会員の別所富貴子さんと山越が出張講座で片田小学校を訪問。

4年生の3限目授業時間に谷川士清先生のお話をさせていただきました。

まず、津市制作のDVDを見ていただき、その後津市で生まれその一生をほとんど津市で過ごされた士清先生の偉大な業績のうち『日本書紀通證』・和語通音・『倭訓栞』等を中心に、児童向けに紙芝居の絵を用いて分かりやすく説明しました。幼少の頃から勉学に励み、医者となつては名医と謳われ、学問や神道では多数の門弟を指導し、亡くなるまで多方面で活躍されたことも、絵と出来るだけ平易な言葉で紹介しました。

その後、児童から活発に質問が出、また意外な質問もあり、楽しく授業ができた上、士清先生が優れた業績を残した立派な人であったと理解してもらえたので、出張講座の目的を達成できたと感じています。

谷川士清の顕彰活動のために貴重な時間を割いてくださいました、校長先生はじめ担任の先生に深く感謝するとともに、全児童の皆様からの感想文を取りまとめて当会へお送り下さいました事に心からお礼申し上げます。

～ 三重県健康福祉関係功勞 ボランティア功勞の部で知事表彰（11月17日）～

馬場 幸子

谷川士清の会では設立の平成11年から役員をし、自分のライフワークと捉え、平成15年に副代表となつてからは、生活の中心を谷川士清に置き換えてきました。18年に代表代行そして代表の9年間は、他に係っている活動は後回しにして、多忙な役員の負担を少しでも軽くと思い、自分でできることは一手に引き受け家族も巻き込んで士清一色の毎日でした。一つ一つ実現していくことは感動でした。多くの方々のお陰で士清さんの知名度も当初とは雲泥の差で高くなりました。生誕300年事業の数々のイベント、後世に残す書籍の出版『谷川士清の会十年のあゆみ』と『谷川士清をめぐる人々』（森晋先代表の復刻の再復刻）は大きな業績となりました。

そして、今後も継続していく『まなびの栞』（創刊号～今年度で6号）、「谷川士清の会」のHPもガイドネットの山本氏と古市氏のご協力でやっと一人前（？）になり、「便り」とイベントは行事毎に更新しています。「谷川士清の会」で検索してください。画面が出たら、更新マークを必ずクリックしてください。新しい情報に変わります。

この度、思いがけず知事表彰を受けました。授与対象の内容は「点訳書及び点字絵本の作成・作成指導、谷川士清の知名度向上への貢献、茶道ボランティアによる施設慰問などを行っている」です。ボランティア功勞の部は3団体と4個人で、津市では2名でした。点訳の指導は、22歳からで高校の部活に始まり、公民館・学校での指導は今に至ります。

これからも、この「谷川士清の会」が末永く続くことを願っています。（1面の写真参照）